

ホスピタウン 別冊付録

# 「最新美容医療大特集」 きれいがわかる本

'98/'99

保存版



美容医療の専門ドクターを  
徹底紹介!

女性必見

医療脱毛 アレキサンドライトレーザーで 完全永久脱毛 編

医療美顔 ケミカルピーリング 編

最新美容形成外科 編

最先端レーザー治療 シミ・アザ・ホクロ 編

審美歯科 編

# 医療法人社団 協立歯科

機能、審美、メンタル、予防のすべての面で  
患者さんが満足する治療を真摯に追求

渋谷区恵比寿にある協立歯科の内部は、クリニックというより、サロンのような落ち着いた雰囲気だ。アンティークの家具が配置され、季節の花がさりげなく飾られている。

こうした、従来の歯医者イメージとはかなり違う雰囲気作りがなされているのは、来院した人が「また来よう」と思える場所でありたいという思いからだ。

なぜならここは、短期間に歯の外見を整えてそれで終わり、という場所ではない。納得のいくまでじっくり治療をして、歯の健康と美しさを取り戻す場所なのだ。治療が終わった後も、メンテナンスや予防のためにほとんどの人が定期的に訪れている。

審美歯科というと、単に歯の見栄えを良くするための歯科だと思

われがちだが、審美歯科とは、口元の本来的持つ機能とその恒常性を高めることを目的として、きわめて予防性の高い治療を行うことにより、より美しく、自然と調和した口元を再現あるいは創造する医療である。

**一生もつ歯にするためには  
十分な時間をかけて  
治療することが必要**

中原悦夫院長が治療の上で重視しているのは「歯は最後まで残すこと、なるべく削らないこと、そして自然治療力を引き出すこと」。削ったり抜いたりして、とにかく見た目の美しい歯を作ることとは間違いだという考えだ。

歯と歯茎が健康ではない状態で、一見きれいな歯を作っても、絶対に長持ちしない。それは、基礎工



歯科医院というより、しゃれたレストランのような雰囲気。ドアの前に立つと、不安や緊張がほぐれていくのがわかる



協立歯科には、患者と医療専門のスタッフの間に立って両者の意志の疎通をスムーズにし、よりきめ細かい医療を実現するための“ペイシエント・コーディネーター”と呼ばれる専門スタッフが常駐している

事をせずに家を建てるようなものだという。

「まず歯周病や虫歯を治し、機能を改善することが先決です。美しさは、機能の後からついてくるものなのですから」

そして、トラブルが今後起こらないよう、予防について学んでもらう。患者さんが自分で自分の口腔内をコントロールできるようになって初めて、より美しい外見を

作る作業に入るのだ。

こうした考え方を、初回のカウンセリングで時間をかけて説明すると「とにかく3日でキレイにしてください!」とやってやっけた人が「1年かかってかまわないので、きちんと治したい」という考えに変わるのだという。

治療に1年かかるからといって、その間ずっとコンプレックスを抱えた歯でいなさいというのではな



初回からいきなり診療台に座られることなく、最低でも1時間から1時間半のカウンセリングが行われる

「審美歯科の原点は予防である」と治療方針にも表れているように

## もつとも大切なのは予防 ひとりひとりに合わせた 予防プログラムを

い。  
協立歯科では、時間をかけ、何  
度でも繰り返し仕上げりのシミ  
ユレーションを行うのだが、その  
際の仮歯のクオリティの高さには  
定評がある。  
最終的に健康で美しい歯になる  
までの間も、日常生活に支障がな  
いよう最大限の努力が払われてい  
る。



診療室も冷たいイメージはなく、リラックスできる雰囲気だ

というのが中原院長のポリシーだ。  
予防なしに健康で美しい歯はあり  
えない。協立歯科では、予防こそ  
が最善の治療であるという考え方  
のもとに、予防プログラムを提案  
指導している。

虫歯や歯周病を最も効果的に防

## ていねいな治療で美しい口元を

①歯列不正ほかに、歯周病と虫  
歯もあった治療前の状態。唇の  
形もゆがんでいる



②まず虫歯と歯周病の治療をし、  
その上で歯列矯正を行った。こ  
の段階で健康面の問題はクリア。  
「美しさ」の追求が始まる



③ラミネートベニア法を用いて、  
歯の表面を美しく整えた状態。こ  
こで審美的要素がプラスされ、精  
神面の満足感も得られた



ぐ方法は、誰にとっても同じとい  
うわけではない。

そこで、唾液を分析し、そこに  
含まれる細菌の種類や数などから  
その人固有の虫歯や歯周病の発生  
リスクを測定した上で、個人個人  
に最適の予防プログラムが組みま  
れる。

「本来の歯科医の役割は、トラブ  
ルを治すことよりも、トラブルが  
起こらないようにすることだと思  
います。これから生まれてくる子  
供たちは、歯周病も虫歯もゼロで  
一生過ごしてもらいたい」と中原  
院長。それは、不可能なことでも  
なんでもなく、すべては予防にか  
かっているという。

そのために今、協立歯科が取り

「患者さんとはじっくり話し合います。だん  
だん心が通じ合って、信頼関係が生まれて  
いくのがうれしいですね」と矢内良幸副院  
長。院長、副院長が1日に診る患者さん  
の数は合わせて4〜10人。診療のていねい  
さがわかる



組んでいるのは、妊婦さんへの指  
導だ。

妊婦さんの口の中の細菌を調べ  
れば、生まれてくる子供がどのく  
らい虫歯になりやすいかがわかる。  
虫歯や歯周病の原因となる細菌は、

母親から子供に感染するからだ。その時期は、生後13週から4歳くらいまでの間。母親が妊娠中に予防法を身につけておけば、次の世代のトラブルも減るといっわけだ。次世代まで視野に入れた活動を行っていることから、いかに「予防」を重視しているかがわかる。

## 心身両面の健康を保ち より良い人生を 送るための歯科医療とは

協立歯科の診療システムは、いくつもの段階を踏み、意志の疎通を徹底しながら治療を進めていくのが特徴だ。



診療は完全予約制。患者さんは全国からやってくる。1回の診療時間は1時間半から3時間と、じっくり治療してもらうことができるため、来院回数は少なくすむ

初回に行われるのが「インタビュー&カウンセリング」。患者さんの要望に応えるために、まず詳しいインタビューを行う。そして口腔内の診査によって効果的な処置方法を選び、タイムスケジュールの検討、治療費の概算などのカウ

## 審美歯科の原点は予防。一生、健康で美しい歯で 生きるための管理をクリニックが代行

ンセリングが行われる。

次のステップである「エグザミネーション」は、各専門医によって行われる検査。これらの精密な検査が、治療プランを完全なものにするための貴重なデータとなる。

パーソナルインタビューと緻密な検査から得られたデータを基に、診断結果と治療方針の説明を行うのが「プレゼンテーション」。この時、1種類ではなく何通りかの治療計画書が提示される。

治療計画が決定すると、歯科衛生士がひとりひとりに合わせて予防プログラムを立てる。協立歯科ならではの徹底した「リスクコントロール」だ。こうしたプロセスを経たうえで治療に入るので、安心して診療を受けることができる。

治療が終わったら、治療前と治療後の比較による最終評価（「エバリュエーション」）を行う。患者さんが結果に納得できたら、もう一度予防に関する留意点を確認し、定期的なチェックとクリーニング

によるオーラルヘルスケアの必要性を理解してもらう。

協立歯科においては、機能、美しさ、精神的な満足感、そして正しい予防の習慣の4つの要素を身につけてはじめて、治療が完了したと見なされるのだ。この時点で患者さんは、歯がはえたばかりと同じ状態に戻ることになる。そこから毎日の生活の中で自分にあったケアを実行し、定期的にプロのチェックとケアを受ければ、美しく健康な歯のまま一生暮らすことができる。

こうした診療システムを支えているのは、矢内良幸副院長をはじめ、歯科技工士、歯科衛生士、ペイシエントコーディネーターなどのスタッフ。歯科以外の専門医のネットワークもあり、その人にとって最良の医療が受けられるクリニックといえるだろう。

☎03・3770・5515（代）

URL:<http://www.kyoritsu.or.jp>

E-mail:[smile@kyoritsu.or.jp](mailto:smile@kyoritsu.or.jp)



中原悦夫先生／協立歯科理事長兼院長。歯学博士。日本歯科大学卒業後、タフツ大学歯学部への研究留学を経て、89年に協立歯科を開設。92年、日本人として初めて、AACD（アメリカ審美歯科学会）の認定医となる。医科と歯科とが連携した、患者を中心とする新しい医療システム作りを目指している。